
魔法少女リリカルなのは ～ 男の娘物語 ～

うどん@穂蓮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは ～男の娘物語～

【Nコード】

N6931T

【作者名】

うごん@穂蓮

【あらすじ】

朝起きたら目の前に神様がいて「あなた転生しない？」・・・
って、転生？ 魔法少女リリカルなのはの世界に転生してはちやめちや事件を解決する男の娘物語です。

第0話〜転生！〜（前書き）

処女作品です、誤字脱字やアドバイス・希望がありましたらお申し付けください、できるだけご要望にお答えします。

更新は1日に1回を目安にしています。

「まあ・・・そういう事ではあなたには転生してもらいますね、転生する時に特典として転生する世界と能力を・・・うん・・・ラッキーセブンの7個あげちゃいます!」

「能力の事、今決めましたよね・・・」

「じゃあ欲しくないんですか? (・・・) ニヤニヤ」

「えっ ほっ、欲しいです!」

「じゃあ世界と能力を考えてください〜時間はありますから〜」

「わ、わかりました!・・・うん・・・」

(最近見たアニメの魔法少女リリカルなのはの世界にして貰おう)

「じゃあ世界はえと、魔法少女リリカルなのは、能力は

? : 身体能力を神より少し弱い位

? : 保有魔力をXランクに

? : 魔法の知識や神の知識の一部

? : 他の世界(ゲームや漫画)の技を使える

? : 1を聞いて100を知る

? : 4次元ポケットをいつでも使える

? : デバイスを一機

で

「チートね・・・まあいいでしょう・・・じゃあッ(・・・)ノッ 逝ッテラッシャーイ」

神様がそういうと僕の下に穴が出来た・・・

(それ漢字ちがつ・・・って落ちるううううううー！)

「あの子はどんな物語を作ってくれるのでしょうか・・・楽しみ
です」

第0話〜転生！〜（後書き）

どうでしたか、って日本語おかししいし文章力ないなあ〜自分……

それでも（・　・）オッケー！って方はどうぞよろしく頼みます！
それではノシ

詳しい能力は設定をどうぞ〜

主人公設定等・

名前：羽沢 玲（はざわ れい）

性別：男（男の娘）

年齢：9歳

身長：ちっこい、ヴィータよりちっこいw

容姿：灼眼のシャナのシャナの身長が少し小さくなった感じ

一人称：僕

特技：家事全般、フラグをいつの間にか立てる

魔導士ランク：Xランク

神にお願いしたチート能力7つ

? : 身体能力を神より少し弱い位

? : 保有魔力をXランクに（なのはの1000倍位？wまあ未知数）

? : 魔法の知識や神の知識の一部

? : 他の世界（ゲームや漫画）の技を使える

? : 1を聞いて100を知る（要は頭がとっても良い）

? : 4次元ポケットをいつでも使える（いろんな物を入れたり取ったりできる）

? : デバイスを一機

主人公設定等・・・（後書き）

これでいいのかなw

主人公チートすぎるww

第1話〜・・・あれ？そういえばお家は・・・？（前書き）

更新は不定期ですので、よろしくお願い致します。

第1話〜・・・あれ？そういえばお家は・・・？

「ふあ〜・・・学校行こうかな・・・あれ？ここ何処？」

（あ・・・そういえば転生したんだっけ？

まああつちの生活に飽きてたから転生はいいんだけどね）

「おはよう、それより君大丈夫かい？」

家の前で倒れてたから介抱してたんだが」

（なんか起きたら士郎さんつまりなのはのお父さんがいた）

。 ）

「あら〜その子起きたの〜？

お名前は？」

（桃子さんも・・・て事は高町家の前で倒れてたのか・・・；；

転生者なのは誰にも言つつもりは無いから話を作るしかないかな・・・

・

ごめんなさい士郎さん桃子さん）

「名前は羽沢 玲っていいいます！

え〜と・・・お腹がすいて倒れてしまったんです、すみません」

「玲ちゃんだね、じゃあ家で食べて行くかい？」

「いいんですか？」

（玲ちゃんて・・・まあ前世で言われてたしいいか・・・）

「いいわよ〜ご飯減るものじゃないし〜

ちょうど今出来たのよ〜」

(桃子さんご飯は食べたなら減りますよ!)

「あ、ありがとうございます!」

「じゃあ食べましょうか〜」

僕が寝ていた部屋から出たらなのはちゃん、美由紀さん、恭也さんがいた。

「あ・・・その子起きたんだ〜

大丈夫?」

「はい、体の方は大丈夫です!」

「良かったあ〜・・・家の前に落ちてる時はびっくりしたけど後、よかったらお名前聞きたいなの」

(あの子やっぱ結構可愛いなの)

「は・・・はは・・・すみません;;;

はい、僕羽沢 玲って言います!」

「大丈夫なの〜

玲ちゃんよろしくなの!

お父さんお腹すいたなの〜」

「じゃあご飯にするか

いただきます!」

《いただきます!!!》

「それで君・・・お腹すいて倒れたってちゃんと家でご飯食べないとダメじゃないか・・・成長期なんだから」

(どうしよう・・・流石に転生したら倒れてましたって言えないし・・・)

でも嘘を付くのは・・・)

「えっと、信じてもらえないかもなんですが、~~~~男の娘説明中~~~~」

「なんと・・・そうなのか、じゃあここに泊まるかい？」

「え・・・？信じてくれるんですか？」

「ああ・・・玲ちゃんが嘘を付いているようにも見えないからねみんなも良いだろ？」

「あらあら〜賑やかになるわね〜」

「俺は大丈夫だ」

「あたしもさんせ〜い」

「お友達が増えるなの」

「あ・・・ありがとうございます！ニッコッ」

《か、可愛い・・・／＼／》

「じゃあなのはと同じ学校いくかい？」

「え・・・？そこまでは悪いですよ・・・」

第1話〜・・・あれ？そういえばお家は・・・？（後書き）

山田さん誰なんだろう・・・w

それにしても、いつものごとく文章が・・・ガガガg

玲君のキャラが不安定すぎるっつうっ！w

まあそれは置いて・・・玲君がなのはと同じ学校に入っちゃいます、次回ご期待！

第2話〜学校と友達〜（前書き）

そういえば、今は原作のどれくらい前なのだろう・・・
W

第2話 学校と友達

「・・・ふあゝ昨日は全然寝れまかつたな・・・」

（昨日はいろいろあったのである、どんな事があったかというところの後（男って言った後）にお風呂に入ったらなのはちゃんが入ってくるし、桃子さんが部屋が無いからなのはの部屋で眠ってねゝって言われたり、恭也さんが睨んでくるし、なのはちゃんと一緒に寝るのはダメだからベットの所で寝ようとしたらなのはちゃんが涙目で「一緒に寝ないの?」とか聞いてくるし、おかげで全然寝れなかつた・・・）

「ふみゆゝ・・・玲君おはよゝ・・・」

「なのはちゃんおはよ」

「ところで目覚まし時計鳴ってたけど今日って学校だよ・・・?」

「ふえ?・・・ああゝ!」

時計っ!・・・うにゃゝ!!!もうこんな時間!?

玲君いくよ!!」

「なのはちゃん寝巻きのままでどこいくの・・・」

てな感じな事が朝にあつて急いで来て、いまはバスの仲です

「玲君って今日転校してくるんだゝ

よろしくね」

（玲君可愛いなゝ男の子って聞いたときびっくりしたけど・・・）

「あ、あんたよろしくっ!・・・ノノノ」

(なんなのよこいつめちゃくちゃ可愛いじゃない！
こんなのが男……一体どういうことなのよ……
でも可愛いわね……／＼／)

「う、うんよろしく ニッコッ」

(ちなにみこの二人はすずかちゃんとアリサちゃんだ、すずかちゃんはやっぱり優しそうだな)
アリサちゃんはなんか怒ってるな……なにかしたっけ……？)

「……／＼／」

顔赤くなってるけど大丈夫かな……？

そんなこんなで学校についていまは職員室に行ったあと先生と廊下を歩いて教室につきました

(なのはちゃん達と同じクラスだったらしいな)
さ、作者省きすぎ……

「先生が呼んだら入ってきてね？」

「は、はい……」

(緊張するな……)

「今日は転校生がいますよ」

《おおおおおおお！！》

「では入って来てください」

ガラガラ

(あ……なのはとすずかとアリサがいる!)

「自己紹介をお願いね?」

「は、はい……」

羽沢 玲って言います、よろしくお願いしましゅ……あ……
／／

(か、噛んじゃったよ……／／)

《か、かわいいいいい!》

「はいはい、静かに、玲さんは転校したばかりで学校の事知らないから仲良くしてあげてね?」

《は……い!》

「じゃあ、席は……なのはさん隣でいいかしら?」

「ふえ?……あ、はい!」

「なのはちゃんよろしく」

「よろしくなの!」

そして質問攻めも終わって、みんなでお昼ご飯を食べていた

「あんだ私と同じクラスで良かったわね!」

「うん、みんなと一緒に嬉しいよ ニ」ッ

《・・・／／／》

（やっぱり可愛いな〜・・・／／／）《

「あつ！そうだ・・・学校終わったらみんなで翠屋で玲君歓迎パーティーしようよ！」

「えっ？いいの・・・？」

「う、うん大丈夫なの・・・／／」

「私たちも今日は暇だから良いよ」

くくくくというわけで学校終わりくくくく
また・・・省いた・・・？w

第2話、学校と友達（後書き）

次はなのはちゃん達と翠屋でパーティーです！！

玲君のスーパー受けtimeは後々出るんだZE！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6931t/>

魔法少女リリカルなのは ~ 男の娘物語 ~

2011年5月31日21時11分発行